

## ～日頃の探求活動の成果を発表～

系列ごとに事前審査会を行い、その中から選出されたグループが全校生徒や学校評議員の方々に対して活動の成果や課題について発表する課題研究発表会が1月23日に開催されました。

課題研究とは、身近な問題について自ら課題を設定しその解決に向けて科学的に調査・実験・探求活動を行いその成果を考察し発表することが求められる教科です。

代表に選ばれた発表は、どれも系列の学習で学んできた知識や技術を生かしながら課題解決に向けて試行錯誤する様子が伝わってくるすばらしい内容で、「各系列の特色が出ており、どれも興味深い内容でした。」と学校評議員の方々からも称讃のお言葉を頂きました。

来年度が能代西高校として最後の課題研究発表会になりますが、在校生は先輩達の研究活動を参考に新たな探求活動に取り組みます。



## ～豚枝肉の解体とハム作りに挑戦～

「食品製造」の授業で3年生が、豚の枝肉を購入し、解体しながら必要な部位に分けて加工を行いハム作りに挑戦しました。

渡辺先生・西川先生が、部位の名称や肉の特徴などについて説明を加えながら手際よく包丁を入れると、たちまち加工しやすい大きさに切り分けられました。

この日処理した豚肉は加工して、約1年かけてハムになります。

現在建設中の新校舎には食品加工施設が整備される予定で、今後販売も検討していきます。

統合校の「生物資源科アグリビジネスコース」を選択すると食品の加工に関する学習ができますよ～

小・中学生の皆さん、一緒に勉強しませんか？

